

9200

號 五 第

(裁決)行決 覽回後	帶 述			御 指 定	御 指 定	決 裁 指 定	永 久	保 存 期 限
	長(部)局	長(部)局	長(部)局					
	整 備	兵 務	軍 務	大 臣		件 名		番 號
				委		朝鮮人志願兵問題ニ関スル件		起元應(課名)
				官 次	官 次	政 務		
長 課	長 課	長 課	補 任	長局務主	官副級高	官典參		
	兵 務	軍 務	軍 事	御 指 定				
			整 備	長課務主	副 官	主 務	書 記 官	
				員課務主				
				房官臣大	課 局 務 主	領 受 號 番		
				了 結	出 提	昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日
				昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日

政務官 回付(決行前)

兵役

(決行後)

筆記者

13.17. 9

軍

大臣ヨリ参謀總長、教育總監及朝鮮軍司令官宛
通牒案

陸密

朝鮮人志願兵問題等ニ関シ別紙第一ノ通閣議ニ於テ
之ヲ決定シ拓務大臣ハ總理大臣ニ代リテ別紙第二
ノ通奏上セシニ付通牒ス

陸密第三五號

昭和三年壹月拾八日



8400

別紙第一

極秘

今後ノ朝鮮統治ニ關シ昭和十二年十二月二十四日

閣議ニ於テ決定セル事項 寫

朝鮮人ヲ同化融合シ皇國臣民タルノ自覺ヲ與ヘ内鮮一體東洋永遠ノ
 平和ノ基礎ヲ堅クスルハ朝鮮統治ノ大本ニシテ 臣等 夙夜恐懼トシテ

聖旨ニ副ヒ奉ラムコトヲ期シツツアリ

然ルニ國威顯揚ニ伴ヒ滿洲事變ヲ楔機トシテ醜釀セラレタル内鮮一
 體ノ氣運ハ今次ノ支那事變ニ際會シ澎湃トシテ全鮮ニ漲ルニ至レリ
 是レ偏ニ 歷世御稜威ノ賜ニシテ 臣等 洵ニ感激措クトコロヲ知ラス

此ノ秋ニ方リ朝鮮統治ノ大本ヲ更ニ明徴ニシ朝鮮人心指導ノ根本方
 針ヲ闡明スルノ要切ナルモノアルヲ思ヒ茲ニ左記ノ施策ヲ講シ依テ
 以テ朝鮮ノ日本化ヲ促進シ朝鮮併合ノ 聖慮ニ副ヒ奉ラムトス

「朝鮮統治ノ現況ニ關シテハ別ニ朝鮮總督ヨリ上奏ス」

記

一、朝鮮ノ學校教育ヲ刷新シ半島在住國民ヲシテ皇國臣民タルノ自覺ト資質トヲ強化向上セシム

二、朝鮮人志願兵制度ヲ採用シ内鮮一體ノ國防ニ寄與セシム

（但シ之カ爲朝鮮人ノ參政權ヲ擴張スルノ意志ヲ有セス）

三、神社崇敬ノ念ヲ涵養シテ我カ國體觀念ヲ明徴ナラシメ舊來ノ陋習ヲ改メ内地ノ良俗ヲ採リ國語ヲ普及シ進ンテ思想ノ善導ヲ圖ル等

皇國臣民タルノ意願ヲ培養ス

四半島在在内地人ノ増加定率ヲ覆リ其ノ他内線ノ融合ヲ強化スル爲
諸波ノ施策ヲ勵ス

0082

別紙第一

極秘

昭和十二年十二月二十四日ノ閣議決定ニ差ク

拓務大臣上奏文寫

(昭和十三年一月十五日上奏)

臣軍由

朝鮮人心推尋ノ根本方針ニ付隨ミテ奏上ス

朝鮮人ヲ同化融合シテ、之ニ皇國臣民タルノ自覺ヲ與ヘ、内鮮一體以テ東洋永遠ノ平和ノ基礎ヲ蓋クスルコトハ朝鮮統治ノ大本ニシテ、臣等夙夜忝懃トシテ常に 聖旨ニ副ヒ奉ランコトヲ期シツツアリ。

最近朝鮮ニ於ケル民心ノ趨向ハ國威ノ頹落ニ伴ヒ益々鬱鬱不安ニシテ、殊ニ滿洲事變ヲ發端トシテ、疆域セラレタル内鮮一體ノ救運ハ今次ノ支那事變ニ際シ更ニ其ノ勢ヲ加ヘ朝鮮ノ蒼生ハ暮ツテ帝國ノ偉大ナル實力ト其ノ世界ニ於ケル確固タル地位トヲ明カニ認識シ均シク帝國臣民トシテ皇國ノ威ヲ奉グ多クノ榮譽美談ヲ傳ヘ前後ノ歴

意内地ニ比シ敢テ遜色ナク今や眞ニ内鮮渾然一體タルノ實ヲ具現シ
 ツツアル狀況ナリ。此ノ裏ハ獨ニ一歴世御稜威ノ賜ニシテ 巨勢海ニ
 感激接ク能ハサル所ナリ。

此ノ秋ニ方リ此ノ傾向ヲ善導シ、更ニ之ヲ助長スルコトハ一面朝鮮
 兼庶ノ康寧ヲ増進スルト同時ニ他面彼等兼庶ノ稟質誠能ヲ發揚セシ
 ヲ帝國ノ人的資源ヲ強化スル所以ノ途ニシテ天下ノ時局ニ銜ミ洵ニ
 緊急ノ要務ト信ズ。

仍テ朝鮮統治ノ大本ヲ更ニ明瞭ニシ朝鮮人心指導ノ根本方針トシテ
 次ノ方策ヲ聯ジ名實朝鮮ノ日本化ヲ促進シ、朝鮮併合ノ 至慮ニ關

と導ラムトス。

一、朝鮮ノ學校教育ヲ刷新シテ半島在住國民ヲシテ一層皇國臣民トシテノ自覺ト實質トヲ強化向上セシメントス。

抑モ朝鮮ニ於ケル教育ノ本旨ハ一視同仁ノ根本義ニ基キ教育ニ關スル勸諭ノ涵旨ヲ遠擧シテ忠良ナル國民ヲ養成シ以テ國運ノ進展ヲ期スルニアリテ内地人タルト朝鮮人タルトニ依リ區別アルナシ、唯時勢ト民衆トニ立脚シ之ニ適應スル教育ヲ施シ其ノ效果ノ萬全ヲ計リタルモノニシテ即テ國語ヲ常用スル者ト國語ヲ常用セザル者トノ教育ハ其ノ會語習俗ヲ異ニスルニ鑑ミ普通教育ニ於テ教

育機關ヲ異ニシ又教育ノ内容ニ於テ若干ノ差異ヲ設ケタリ、然ルニ朝鮮ノ現状ニ鑑ミ現行ノ制度ニ必要ナル改正ヲ加ヘ此等ノ差異ヲ撤廢スルト共ニ朝鮮人ニ對シ眞ニ帝國臣民タルノ自覺信念ヲ確固不拔ニ涵養スルノ訓練教育ヲ施スノ外一面時宜ニ應ジ教育機關ノ擴充ヲ行ヒ以テ朝鮮人ヲシテ勉メテ發達ノ機會ヲ多クラシメ皇國臣民タルノ資質能力ヲ向上強化セシメントス。

ニ朝鮮人志願兵制度ヲ採用シ之ニ依リ皇國臣民タルノ鍛鍊ヲ加ヘ内練一體ノ國防ニ寄與セシメントス、而シテ朝鮮人志願兵制度ノ實施ハ一ニ朝鮮人心ノ指導誘掖ノ一施策タルモノニシテ之ヲ以テ朝

韓人ニ参政權擴張ヲ云爲スルコトヲ許スモノニハ非ズ。

三、朝鮮人ニ對シ神社崇敬ノ念ヲ滋養シ我が國體觀念ヲ明徹ニシ舊來ノ陋習ヲ改メ内地ノ良俗ヲ採リ國語ヲ普及シ進ンデ思想ノ善導ヲ圖ラントス。

四、一視同仁ノ聖旨ヲ奉ジ内鮮融和ノ實ヲ完カラシメ朝鮮人ノ同化ヲ促進セシムル爲内地人ノ半島定着ヲ増加セシメントスルモノニシテ之ガ爲交通、文化、衛生等ノ施設ノ増充、普及、産業各般ノ發展振興ト相俟テ内地人ノ智能、技術、勞務ヲ益々活用スルノ施策ヲ實行シ殊ニ國防ノ強化ニ寄與スル方途トシテ除隊兵ノ現地就

職ニ付適當ナル措置ヲ講ゼントス。

朝鮮人心滯弊ニ關スル大綱ニ付隨ミテ 監關ニ達ス尙朝鮮統治ノ

現況及本大綱ノ精細目ニ關シテハ朝鮮總督ヨリ奏上セシム。